

令和6年2月5日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

2050年脱炭素社会の実現に向けて 小中学校の再エネ電力調達に「オークション」を活用しました

市では、2050年脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギー電力（再エネ電力）の利用を推進するため、株式会社エナーバンクと連携協定を締結しました。

同社が提供する電力リバースオークションサービス「エネオク」を活用し、令和6年4月以降、市内すべての小中学校の電力を再生可能エネルギー100パーセントに切り替えます。

なお、「エネオク」を活用した公共施設の電力調達は、県内初の取り組みです。

また、令和6年度以降は、市内の民間事業者も「エネオク」に参加できるよう、同社との連携を強化し、民間事業者の脱炭素化を促進していきます。

【「エネオク」の概要】

他者の入札価格が見える状態で、一定期間何度でも再入札が可能な仕組み（リバースオークション方式）を採用し、競争性や公平性を確保したうえで、再エネ電力の価格低減を図る無料サービス。

1. オークション結果

| | |
|--------------------|-------------|
| (1) 令和6年度電気使用料（予定） | 60,734,469円 |
| (2) 標準的な再エネ電力使用料 | 86,072,917円 |
| (3) 削減率（予定） | ▲29.4% |

2. 再エネ電力導入による温室効果ガス削減量（見込み）

▲1,064t-CO₂

（市の令和3年度温室効果ガス総排出量：5,534 t-CO₂の19.2%に相当）



左：株式会社エナーバンク 代表取締役 佐藤 丞 吾氏

右：中原 恵人市長

この件に関するお問合せ先

- 連携協定に関すること：市民生活部 環境課 ☎048・982・9698
- 契約手続きに関すること：総務部 財政課 ☎048・982・5966